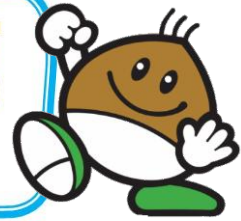


# 栗東市地域部活動通信



No.7

2026年8月3日

発行：栗東市地域部活動事務局

## 栗東の取り組みを記事にいただきました

楽庁

2026年(令和8年)7月24日

金曜日

滋賀ワイド 20

地域の指導者に教わりながら練習する生徒(栗東市安養寺の1日(栗東中))



教員の働き方改革により部活動の地域移行が課題となる中、栗東市は中学校の部活動を本格的に地域で展開するために、資金面から部活を支える「部活動サポーターズクラブ」を立ち上げた。栗東ロータリークラブを中心に地元企業や団体が賛同している。市が資金援助団体をつくらせて地域移行に取り組むのは県内では初めてという。

7/24付  
京都新聞

### 中学生部活資金面で支援

#### 企業や団体が会費

#### 栗東市に「サポーターズクラブ」

市は部活動に代わって地域の指導者が教える「地域部活動クラブ」の認定に取り組んできた。現時点では柔道▽卓球▽野球▽バスケ▽トボール▽陸上競技▽書道の6団体となっている。認定クラブは、平日は午後4時半以降の2時間以内を目安に、土日は日中でも学校施設が利用できる。県などの大会には、卓球、陸上、バスケは既存の「部活動」として出場。部活動がない柔道は「栗東柔道連盟」の地域クラブ名義で参加している。

こうした中で、クラブ立ち上げの初期費用としてかかる用具や消耗品の購入など、部活動よりも大きくないが、保護者負担に不安を感じている。そこで、基金を運営する組織として発足させたのがサポーターズクラブだ。

#### 〇インサイド

部活動に代わる認定地域クラブが必要とされる背景には、教員の働き方改革により、部活動の活動時間が短いことも一因にある。

認定地域クラブで練習時間確保、成果

#### 指導者や備品 費用が課題

卓球クラブの場合、生徒の負担は保険代のみ。備品はロータリークラブから寄付されたネットや球出し機を活用している。5月の春季総体では、女子団体として県大会で優勝するなど、成果も出ている。女子キャプテンの栗東中3年花谷明咲さん(14)は「練習時間がしっかりと取れるので、結果が付いてきたと喜ぶ」。

(山本千尋)

栗東ロータリークラブ▽栗東青年会議所▽栗東市スポーツ協会▽栗東市文化協会▽栗東市スポーツ少年団

の5団体を理事とし、これらに所属する企業20団体と個人25人が現時点の会員という。運営のための会費は、団体会員が年1万円、個人会員は年3千円とした。クラブはさらに多くの会員を募集しており、南新井会長は「市民からも広く会費や寄付金を集め、目標が大きすぎるかもしれないが、1千万円規模の基金を

目指したい」と意気込む。今井義尚教育長は、「部活動を続けるには、指導者の受け皿と資金面の支援の両輪が必要。地域展開により、専門的な指導者から直接受ける、学校では設置が難しい柔道やレスリング、ゴルフなどに発展的に取り組んだりすることもできる」と期待する。

(山本千尋)

救急搬 厚労省 ドクタ の医療搬送 ついて考え 合が23日、 った。関連 へり運航事 が、ドクタ 課を報告 関西では 北陸 負担「 評価 前原氏 京都府の 23日の定例 陸新幹線敷 新大阪延伸 備委員会での 共同委員 誠司衆議 府と京都 だれぞら 0 との見通 について

【本件の問い合わせ先】 栗東市教育委員会 学校教育課 部活動地域移行担当

TEL 077-551-0130 FAX 077-551-0149 Mail gakkokyoiku.city.ritto.lg.jp